

2025 年 9 月 25 日

ポジティブ・インパクト・ファイナンスによる資金調達を実行

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、企業活動が環境や社会に与える影響を評価して金融機関が融資する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（PIF）による資金調達を実行しました。本件は株式会社三井住友銀行を主幹事とするもので、調達金額は 100 億円です。

PIF は、持続可能な社会を実現するための金融であるサステナブルファイナンスの一種で、企業活動によるポジティブな影響の拡大とネガティブな影響の低減を包括的に分析・評価するファイナンス手法です。本 PIF では、サーキュラーエコノミーへの貢献に必要な金属であるニッケルの生産量、銅製錬における二次原料処理量、温室効果ガス（GHG）排出量の削減率などを評価指標（KPI）として掲げています。

住友金属鉱山はサステナブルファイナンスとして、2020 年に PIF、2023 年にグリーンローン、2022 年と 2024 年にグリーンボンドの発行を実行し、このたびの PIF と合わせて累計 700 億円以上の調達をしてきました。長期ビジョン「世界の非鉄リーダーを目指す」の実現に向けて、今後もサステナブルファイナンスも活用しながら、社会の持続的発展に貢献する経営課題に取り組み、事業の持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

なお、本 PIF は、国連環境計画・金融イニシアティブが定める PIF 原則への適合性について、株式会社格付投資情報センターから第三者意見（セカンドオピニオン）を取得しています。また、本 PIF の KPI における目標は、2025 年 3 月に改正した重要課題の「2030 年のありたい姿」で掲げているものから設定しています。

<本 PIF の概要と KPI>

1. 本 PIF の概要

借入人	住友金属鉱山株式会社
契約金額	100 億円
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
エージェント	株式会社三井住友銀行
契約締結日	2025 年 9 月 25 日
契約期間	3 年・5 年
貸付人	株式会社愛媛銀行、株式会社大分銀行、株式会社佐賀銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社筑波銀行、農林中央金庫、株式会社みなと銀行、株式会社もみじ銀行、株式会社りそな銀行

2. 本 PIF の KPI

評価指標 (KPI)	目標
ニッケル生産量	2030 年度までに 10 万トン/年
銅リサイクル処理量 (銅量)	2030 年度までに 14 万トン/年
GHG 排出量 (Scope1+2) 削減率	2030 年度までに 2015 年度比 38% (内訳 国内 50%、海外 24%)
GHG 排出量 (Scope3) 削減率	2025 年度末：現状の把握と目標設定
自然関連リスクと機会の 特定・対応・開示	2026 年度末：当社グループ事業の優先地域への対応 2030 年度末：重要なバリューチェーンへの対応
女性管理職比率・人数	2030 年度までに連結 18%、単体 7% (50 名)
重篤災害件数	2030 年度までに 0 件

<ご参考>

住友金属鉱山 サステナブルファイナンス概要・事例

<https://www.smm.co.jp/sustainability/finance/>

株式会社三井住友銀行 サステナブルファイナンス等

<https://www.smbc.co.jp/hojin/financing/sustainable/kokusai/>

株式会社格付投資情報センター ポジティブ・インパクト・ファイナンス セカンドオピニオン

<https://www.r-i.co.jp/rating/info.html>

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

※本 PIF は、2025/9/25 付「評価レポート」に掲載

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705